

六ツ川地区社協活動報告



六ツ川地区『高齢者在宅介護家族の集い』紹介

六ツ川地区では、いろいろな福祉事業を自主的に行っています。その中の一つとして、『ご家庭で高齢者の介護をしておられる方々が集まって日頃の苦労や介護の工夫などを話して頂き、ストレス解消や情報交換に役立ててもらおう会』（高齢者在宅介護家族の集い）を、介護者に対する1年の慰労を兼ねて、毎年、年末に行っています。



今年も、去る11月20日に行われました。介護している人だけでなく、介護されている本人もお一人参加していただき、会は和気あいの雰囲気の中で進行しました。

親・夫・妻などの世話で、普段ほとんど自由な外出ができなくて、人と会話する機会も減ってしまっている人が多い中、みなさんととても話し上手で、いろいろなことを喋っていただきました。厳しい現実と戦って生きておられる中での言葉なので、一つ一つに重みがあり、参加者同士で頷き合う場面もいっぱいありました。

参加者に後日取材してみました。

＊ 母親の介護のため、定年後に調理師免許を取って頑張っている息子さん

◆「会の帰り際に、ご自身が95歳で91歳の奥様を介護している方とお話しできて良かった。」

—— 終了後、参加者同士お友達になられる方も増えているようです

＊ その95歳の男性

◆「普段話をする相手がなくて淋しいので、こういう機会は嬉しかった。」

—— 息子さん宅にお誘いしたところ、年の差30歳以上の介護者同士が、仲よく語り合ってくれました。

＊ その他二組のご夫婦

◆「この会に参加したお蔭で、気持ちがスツとし、これまで以上に夫婦の絆を深めることが出来ました。」と喜んでおられました。

（写真は、後日取材時に撮ったものです。）

